

○令和3年11月15日 総合防災対策特別委員会の審査を行いました。

県議会の各委員会では、毎年テーマを定めて現地視察を行い、関係者から御意見等を伺っておりますが、今回は、コロナ禍の状況を鑑みて、現地視察に代え、県議会の委員会室に説明者を招き、取組内容について意見聴取する形で行いました。

総合防災対策特別委員会では、今年度のテーマを「大規模災害に備えた危機管理体制の強化について」及び「地震・津波対策とため池の防災対策について」と定めています。

まず、国立大学法人香川大学 四国危機管理教育・研究・地域連携推進機構 金田 義行 特任教授（高松市幸町）から南海トラフ地震についての説明を受け、質疑を行いました。



次に、東讃土地改良事務所から、亀割池（高松市亀水町）におけるため池の耐震補強工事の概要についての説明を受け、質疑を行いました。



最後に、高松土木事務所から、詰田川水系御坊川津波等対策河川事業について、現地（高松市松島町）とリモート中継で結び、事業概要や施工計画の説明を受け、質疑を行いました。

